

書籍のご案内

ひずみゲージ試験実技参考書 2024

編集：(一社)日本非破壊検査協会
編集委員長 高山 博光
体裁：B5版, 97頁
定価：定価 2,310円(税込)(送料別)

ひずみゲージ試験は、構造物に生じるひずみを測定し、その構造物の設計値及び規格値などに基づく必要強度と比較することにより、その安全性の評価を行っている。しかしながら、ひずみゲージの感度が高いため、不必要な成分も測定値に含まれること。再利用できないひずみゲージを使うため、やり直しが効かない場合が多いこと。さらに、適切ではない測定を行っても測定値は表示され、適性な評価につながらない場合が生じることなどから、ひずみゲージ試験の適用には十分な配慮が必要となる。

そこで、テキストである非破壊検査技術シリーズ“ひずみゲージ試験Ⅰ”、“ひずみゲージ試験Ⅱ”及び“ひずみゲージ試験Ⅲ”で習得した知識を適切に活用することを主な目的として、新規に本書を発売することとなった。

ここでは、実用的なひずみゲージ試験の実施方法を具体的に示すとともに、図と表をできるだけ多く用い、式の近くに変数の意味を記すことなどで、よりわかりやすいものを目指して、実技へ活用するための要点と注意事項を主に記した。

ただし、テキストの内容を理解していることを前提としたため、要点のみを記し、詳細な説明を省略しているところがある。したがって、理解が曖昧なときは必ずテキストで確認するこ

とが必要となる。

本書の構成は、ひずみゲージ試験の実務に必要な基礎事項を記した“基礎編”、実技訓練などの参考となる“実習編”、実際に適用する際の参考事項と実施例を記した“実技編”及びさらに広く深く実践したい方のための“資料編”とした。また、今回は新版であることから、要望があれば、改訂に応えられるよう考えている。

本書の活用によって、ひずみゲージ試験で信頼される結果を積み重ね、より広い分野の実務に役立てていただくことを期待する。

(はしがきより抜粋)

以下に目次を示す。

- 第1部 基礎編
- 第2部 実習編
- 第3部 実技編
- 第4部 資料編

以上

